

令和5年度第2回印西市スポーツ推進審議会会議録

開催日時	令和6年3月4日（月） 午前10時から午前11時15分まで
開催場所	松山下公園総合体育館会議室
出席者	渡会長、野村委員、小暮委員、伊東委員、岩井委員、大河原委員、細谷委員
欠席者	谷口委員、佐々木委員
事務局	スポーツ振興課 川嶋課長、近藤係長、鈴木主査、
傍聴者	0人
会議内容	
1. 開会	進行 事務局
2. 挨拶	渡会長
3. 議題	議長 渡会長
(1) 令和5年度スポーツ事業報告について	
— 事務局説明 —	
— 質 疑 —	
委員	資料5ページの14番印西市スポーツ推進委員のスキー教室の中止の理由を教えてください。
事務局	スキー教室は、スポーツ推進委員が主体で行っている事業ですので、スポーツ推進委員の会議で検討し、宿泊を伴うスキー教室について、実施する必要があるのか、実施する場合はかなり前から予約の必要があり、申込者がいるか、また、キャンセルする方がいるとキャンセル料が発生してしまう等、様々なことを考慮して中止を決定したものでございます。
委員	資料2ページの2番第29回関東大学女子駅伝対校選手権大会の後援事業、資料3ページの5番千葉県ラグビーまつり in 印西、資料5ページの15番印西市スポーツ協会、16番印西市スポーツ少年団の補助事業は、どのような後援や補助を行っているのか教えてください。
事務局	まず、2番第29回関東大学女子駅伝対校選手権大会の後援については、関東学生陸上競技連盟が主催で開催しており、基本的な運営は関東学生陸上競技連盟が行います。会場が印西市の千葉ニュータウンということもありますので、関東学生陸上競技連盟と警察との調整、公共施設の利用等、様々な団体や市役所各課との調整について協力しています。5番千葉県ラグビーまつり in 印西、15番印西市スポーツ協会、16番印西市スポーツ少年団の補助については、それぞれの運営に必要な経費に対して補助金を交付しております。

委員 令和5年度は、資料4ページの13番オリンピック・パラリンピック事業にパラアスリート講演会、陸上クリニックがありますが、令和6年度計画では、別事業としている理由を教えてください。

事務局 令和5年度については、オリンピック・パラリンピック事業として行いましたが、東京オリンピック・パラリンピックが終了して4年が経ちますので、内容は変わらず行う予定ですが、通常のスポーツ振興の事業として行う形にしました。

委員 事業をみると順天堂大学のバックアップ体制がとれているように思い、支援体制に感謝します。駅伝、陸上クリニック、医学セミナー、パラスポーツなど多岐にわたってトップアスリートからボランティアまでやっていただいています。順天堂大学と印西市の連携事業の正式名称はありますか。また、市にとって大きなメリットになりますが、大学にとってのメリットがあるか教えてください。

事務局 順天堂大学との連携については、主管は企画政策課になり、包括連携協定を結んでおります。総合的な連携協定となっており、それぞれの分野で、それぞれの課が様々な事業を行っています。その一つとして、スポーツ振興課も事業を行っています。

会長 大学の立場としてお話しすると、順天堂大学としては、包括連携協定もありますし、昨今、大学は、地域貢献、社会貢献を強く求められています。自治体の事業を手伝うことは、大学としても優先度をもって取り組んでいるところです。また、こういった事業に学生が関わることは、学生教育に非常に効果を発揮していると感じています。大学の場所は、印西市の一番端にありますので、なかなか外に出ない学生も多いなかで、地域のみなさんや大学教員以外の選手の方々と交流を持つということは学生教育に非常に効果があると思いますので、できるだけ印西市の事業に協力するという立場をとっています。

委員 協定を結んでいるのは、印西市だけですか。

会長 包括連携協定は、印西市、佐倉市、酒々井町、成田市の4自治体と結んでいると把握しております。その中でも印西市との事業は優先度が高いと理解しております。

委員 駅伝は人気スポーツになっていて、印西市では、小学生から松山下公園を利用して大会を行っています。中学生も駅伝を開催していますが、昔は学校警察連絡協議会が市の補助を受けて行っていたのですが、予算がなくなってしまい、現在は実行委員会形式で開催しています。予算がないので、費用は、主催者が関係する中学校の先生や応援に来ている校長先生にも協

力のお願いをいたします。何が問題かということ、学校の先生の働き方改革が1番問題になっていて、中学校の先生が休日を返上して、学生を引率して大会運営に協力していますが、更に費用を負担していただくということになっています。予算が削除された理由は、それぞれ事情があると思いますが、順天堂大学の学生には、印西市のロゴをつけていただく等、市がバックアップして、小学生は市の予算で駅伝大会を開催していると思いますが、中学生は自分たちの費用で開催しているということが現状です。どうか市で予算をつけてバックアップしていただけないものかと思っています。

会 長 この件については、来年度の計画の部分かと思いますが、議題2のところでも取り上げたいと思います。

委 員 順天堂大学に限らず、印西市出身の方で何人くらい箱根駅伝に出場しているかわかりますか。

事務局 把握しておりません。

委 員 印西中出身の選手は東海大学卒業後、昨年、トヨタ紡織陸上部でニューイヤー駅伝に出場して区間賞をとりました。あと、印西中出身で八千代松陰高等学校に進んだ生徒が全国大会に出場して1区を走った記憶があります。

委 員 障がいスポーツ、競技スポーツ、オリンピックスポーツがあり、その頂点を目指す選手がでてくるのが一番のスポーツ振興になっていくと思います。例えば、そういう人達を把握して、広報やスポーツ協会のホームページでPRしていくことも1つかと思います。スポーツ協会のホームページはありますよね。

事務局 現在、スポーツ協会のホームページについては、見られない状況になっていますが、来年度リニューアルする予定です。

委 員 オリンピックイヤーでもありますので、市の選手の活躍をPRすることを考えていただければスポーツ振興につながると思います。

(2) 令和6年度スポーツ事業計画について

— 事務局説明 —

— 質 疑 —

委 員 資料8ページ11番プール利用券配付事業ですが、温水センターの指定管理者制度が令和5年度までの契約となっており、令和6年度以降については、2月の議会で承認され、令和9年9月30日までの3年半の指定管理となっております。現在のクリーンセンターは、令和10年に吉田地区

に移転する予定です。その前の令和9年9月30日で温水センターを閉館する予定になっております。移転先にはプールは作らない計画になっていて、令和9年のぎりぎりまではプール利用券配付事業に協力できる予定ですが、それ以降は温水センターがなくなってしまうので、検討いただければと思います。

事務局 クリーンセンターの移転は把握しておりますが、温水センターについては、今後、正式に閉館となれば、プール利用券配付事業について、他の施設に協力いただけるかも含めて、事業の内容を検討していきたいと思いません。利用状況は昨年度、延べ1,648人で、配付した利用券の全体の約8%程度の利用となりますので、令和6年度については、もう少し利用していただけるように、期間の延長等を検討して実施していくと考えているところでございます。

委員 参考までにお話すると、印西市のクリーンセンターの工場見学に来る市内の4年生の児童全員に、年間約1,500枚の温水センターの無料券を配付しますが、利用は2%くらいです。夏場に集中して、あとはぱらぱらという状況で、8%だと利用されているように思います。

委員 学校の部活動で、野球場やテニスコート等の市の施設を使用することはありますか。

事務局 学校の部活動の練習で利用いただいているのは、土曜、日曜日に陸上競技場のみで、野球場、テニスコートについては、大会等で利用していただくことがあるようですが、平日の部活動での利用はないと認識しております。

委員 地域の部活動移行について、地域クラブやスポーツ協会等の社会体育団体が支援するような、スポーツ振興課として、地域への働きかけや会場の対策の問題とか視野としてあれば教えてください。

事務局 部活動の地域移行については、教育委員会指導課が主体となって、今年度、協議会を立ち上げて協議を行っています。その中で、印西市の教育委員会としてどういう方向性で地域に移行していくのか、方向性が定まった段階で、スポーツ振興課がどのようなバックアップができるか、市のスポーツ施設の使い方についても課題等が出てくると思いますので、指導課と協議していきたいと考えています。また、スポーツ振興課でスポーツ少年団を所管していますので、スポーツ少年団にアンケートを行ったこともありますが、小学校と中学校では、規模やルール、道具の種類の違い等いろいろな問題がありますので、ほとんどの団体は受けられないという結果でしたので、スポーツ少年団が受け皿になるのは難しいという認識はありま

す。最終的には、教育委員会の協議会の議論を待って、スポーツ振興課ではどのようなバックアップができるか検討していきたいと思っています。

委員 大改革になるでしょうから、指導者、場所の問題への対応は、指導課だけでは収まりきれなく、市をあげていかないと解決できないと思いますので、今後期待しております。

委員 来年度1年間松山下公園総合体育館のメインアリーナ、サブアリーナが工事で利用できないので、どうしようという意見や問い合わせが私のところにきています。10番の学校体育施設開放事業では来年度173団体が利用しますが、各種目の方々が悩んでいます。松山下公園総合体育館を使用していた方について、ある程度、スポーツ振興課から学校に使用させてと働きかけはしないでしょうか。学校側と利用者団体が協議していくしかないでしょうか。特に松山下公園総合体育館で開催していた大会は、大きな大会なので中学校を使用しないと無理だと思いますが、中学校は部活動で使用しているので、借りられるのか悩むところです。松山下公園総合体育館を貸し出している担当課として助言していただけるのでしょうか。

事務局 学校体育施設については、学校教育に支障のない範囲で貸していただいています。1番第75回印旛郡市民スポーツ大会の印西市担当のバスケットボールとバドミントンの会場についても松山下公園総合体育館が使用できませんので、中学校の体育館を貸していただけないかお願いをしましたが、部活動が優先されるということもあって難しい状況です。松山下公園総合体育館で大会を開催している団体の学校の使用について、基本的には学校長の判断となりますので、スポーツ振興課から学校にお願いするのは難しい状況です。

委員 1番第75回印旛郡市民スポーツ大会は、印旛郡市内の各市町で会場を振り分けて開催している大会で、1年に1回の市町を代表する大きな大会なので、担当の種目会場については、学校と協議して前向きに検討していただくようお願いしていただきたい。

委員 松山下公園総合体育館で活動できないと、学校が受け皿になると思いますが、松山下公園総合体育館で常時活動している団体はどのような種目なのでしょう。

事務局 バスケットボール、バレーボール、卓球、バドミントン、クライミング等いろいろな種目で利用されています。

委員 そういった団体の練習場所がなくなるということですね。

事務局 小中学校の体育館等を利用するのであれば、学校体育施設開放利用の申請をしていただきます。学校体育施設開放事業については、現在申込み

だいて、調整しているところです。

委員 松山下公園総合体育館の工事日程を教えてください。

事務局 令和6年4月から令和7年3月を予定しております。

委員 クライミングもできませんね。

委員 クライミングの県大会は千葉県立幕張総合高等学校で行います。普段の練習は、民間施設を利用します。

委員 印西市は、住みよさランキングの上位に何年もいて、人口が増えています。そのような地域ですので、スポーツに関心を持っている方も多いはず。実際、スポーツしようと思ってもハード面が整っていないとか、あってもうまく使用できないとか、そういう問題はどこでもあると思います。ハード面を充実させることや競技者に対しての支援が必要だと思いますので、スポーツ振興課の市の予算が増えるようにすることが必要だと思います。様々な場所で活躍されている方もいますので、そういった方の意見も聞いてもいいのではないのでしょうか。

会長 地域のスポーツ意欲が高まることによって政策として動いていくというところもあると思いますので、要望としては予算を増やしたいけれどもその根拠が市民の方から出てくるのが重要であると思います。そのためにもこの会議でもいろいろな話を協議して、市民のスポーツ熱を高めていくことが重要なのかなと感じています。

委員 20番スポーツ大会出場奨励金ですが、対象は団体と個人どちらですか。

事務局 個人です。

委員 印西市民であれば資格はあるのでしょうか。また、国際大会は対象でしょうか。

事務局 スポーツ大会出場奨励金については、全国大会の大会に出場される個人の方、団体スポーツの場合は、そのメンバーの一員であれば対象となります。予選会をとおり全国大会に出場されている方が対象となりますが、全国大会の主催、後援等の制限はあり、すべての全国大会が認められているわけではございません。国際大会については、該当になっておりませんが、以前からお話はいただいていますので、すぐに変えることはできませんが、検討してきたいと思います。

委員 印西市民で、他市の高校に通っていても該当しますか。

事務局 市内在住であれば該当します。

委員 船橋市のららぽーとの南側に（仮称）ららアリーナ東京ベイが2024年春開業予定ですが、ららぽーとに行くモニターがいっぱいあり、千葉

ジェッツの情報が流れていました。民間をうまく誘致して、大きい施設を建てて商業施設と組み合わせながらというまちづくりをやっているのを見て驚きました。スポーツを振興していくとなると、そういうこともいかがでしょうか。

会 長 プロのクラブを持っている自治体には、施設を新しく作るがあります。最近オープンしたのは、広島にサンフレッチェ広島の新スタジアムを市街地の中に建設しました。プロのクラブのスタジアムは、市街地の中に建設していることも多いので、スポーツだけではなく街づくりという大きなテーマになっていると思います。印西市がプロのクラブをどういうふうに使っていくのかということだと思います。街づくりなので、総合計画の中にどういうものを盛り込んでいけるかだと思います。実際、計画の中にスタジアムの建設等を記載することは可能なのでしょうか。

事務局 市は総合計画をもとに事業を実施していますが、総合計画は既に進んでいますので、そこに盛り込むのは難しいので、できるとすれば、次期総合計画にその方向性を載せる議論をしていくかという話になっていくと思います。

会 長 すぐには難しいですね。いろいろな自治体の計画をみると、総合計画は事前に市民にアンケートを行い、その結果、施策の優先度をみていますが、市民のスポーツに対する優先度が低いということがあるので、スポーツに関しては、大きく取り上げずらいことがあるように思います。いかに市民のスポーツ熱を上げていくということが重要になっていくと思います。

委 員 印西市にグッドマンやゲーグル等の大きな企業があります。千葉市に大きなフクダ電子アリーナがありますが、創業者は印西の方ですね。市だけでは箱ものはとても費用がかかるので、そのように企業から協力いただけるとよいと思います。人口11万人ですが、体育館は松山下総合体育館と環境整備事業組合の平岡の体育館だけです。企業を巻き込んで、アリーナ建設していただくようなことができないのかと個人的にも考えています。

事務局 現在ある施設に企業名等を付けて企業の宣伝をしていくネーミングライツについては、成田市等で行っているのは承知していますが、市が企業にアリーナを建設してもらおうということができるとかは研究しなくてはいけないというところです。貴重なご意見としてうかがいます。

委 員 順天堂大学にいんザイクんのロゴを表示していただいている担当課は、スポーツ振興課ではないですね。

事務局 担当は、経済振興課です。順天堂大学の件については、市のプロモーション活動という観点で順天堂大学にご協力いただき、印西市のロゴを表示していただいています。

委員 小学生や中学生が全国大会に行くときにいんザイ君をつけてあげたいです。そういうことをやれば市民の方に理解していただけると思います。その他、中学校は、木刈中学校と西の原中学校の両極になっていて、その他の中学校の部活動がままならない状況になっています。教育委員会が考えることとは思いますが、せっかく施設が整っているのに生徒がいないということになっています。子供達がうまく分散してどこの学校と戦っても対校できるようにならないかなと思います。ただ、部活動が地域移行になっていくと地域クラブの活動が主になることと思います。地域クラブ活動になるとハード面が必要になりますよね。廃校になった学校が何校かあるので有効に使えないものなのかなと思います。

事務局 中学校の部活の実情は理解していますが、子供達をうまく分散するというお話は、スポーツ振興課ではお答えできませんが、これから部活動の地域移行がどのように進んでいくかによっても変わってくると思いますので、部活動の地域移行の検討の中でスポーツ振興課ができることがあれば協力していきたいと思っております。

(3) その他

事務局 特になし

— 質 疑 —

委員 学校体育施設開放利用で夜間に体育館を利用していますが、夜間照明が少なく駐車場が暗いです。子供も利用していますので、夜間照明を増やしていただくと安全面でも良いのかと思います。

事務局 教育委員会、学校としては、児童及び生徒の利用を想定しているので、夜間の利用は想定していなく、照明が少ないと思われます。照明を増やすとすれば教育委員会の管轄となります。あとは、夜間に照明をつけて明るくなると、人が集まって騒いだりすることにつながり、近所の方に迷惑になる等の面もあると思います。第一としては学校運営に必要なかどうかというところで判断していると思います。

4. その他

- ・報酬の振込時期について

5. 閉 会

以上

令和6年3月4日に開催された、令和5年度第2回印西市スポーツ推進審議会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

令和6年3月26日

署名委員 渡 正

署名委員 岩井 浩